

小田協議会便り



冬号の目次

青写真をとったよ！ - 7月26日

青写真をとったよ！

化石レプリカ作り親子体験

キラキラ万華鏡を作りました

ホームページ

小田の地域文化や
プラザのニュースは
こちら



LINE友だち追加

体験会は10組限定
満席前にLINEから
案内が受け取れます



小田協議会ものづくり部会が、親子ものづくり体験会を開催しています。この活動は小田協議会を設立した3年前から、地元の元教員のボランティアや日頃プラザでワークショップを主催する会員を中心に始まりました。恒例の万華鏡、化石レプリカのほか、今年からは青写真作りも加わりました。小田城夏の陣へのペットボトルロケット、防災イベントへの液状化実験など、他所への出展も積極的に行ってています。

青写真は約180年前に天文学者ジョン・ハーシエルが発明した素朴な撮影法。子どもたちが持ち寄った「撮りたいもの」を感光紙に重ねて真夏の日光に当てるとき、ほんの1,2分で感光します。水洗いすると、それがキレイなブルーに浮き上がり、あちこちで歓声が沸き起こりました。夏休みの小さな体験がアーティストたちの心を驚かせてくれました。

ご連絡・お問合せ

住所：つくば市小田3107 旧小田小学校校舎内
電話番号：029-844-9493
メールアドレス：contact@odasho.org

校庭はどなたでも、ご自由に利用できます。（駐車目的、専有を除く）
以下の区会にご所属の方は、無料で教室などもお使い頂けます。
区会長の確認を経て、ご予約ください。

小田東部、中部、西部、大形、小和田、北太田、下大島
小田協議会に入会すると、施設を専有して使うことができます。
詳しくはホームページ（本紙面左側のQRコード）をご参照ください。



化石レプリカ体験 - 9月20日

オープニングで講師が、アンモナイトや三葉虫の化石を見せると、早速古生物好きの子どもたちの目が輝くのが分かりました。

レプリカは水に石膏の粉を混ぜ、化石の型に流し入れて作ります。「ゆっくり、一生懸命混ぜる」なんて難しい講師の注文に、真剣な顔で取り組んでいました。

石膏が固まるまでは「化石ができるまで」のお話です。大抵の生物は死ぬとバクテリアに食べられて何も残らないのに、偶然噴火や洪水などで埋まり、何万年もかけて金属に置き換わったものが、化石なのだそう。そんなあり得ないほど奇跡的な出会いを、茨城県自然博物館からお借りした、本物の化石の数々をその手に触れて確かめました。

キラキラ万華鏡 - 5月11日

今回の参加者は小学1,2年生を中心になりました。でも保護者の方々と協力して、「ピッタリ合わせる」組立作業や「火傷に気を付けながらグループでくっつける」作業も、小さな手でゆっくり、ゆっくり頑張って挑戦します。

途中には講師が、小さなビーズを床にぶちまけるハプニングも。すると子どもたちがサッと拾ってくれました。老眼のせいで小さい物が見えにくいスタッフもこれには感謝です。ハプニングから心が通い合った、思いがけない瞬間でした。

万華鏡が完成したら、早速覗いてみます。春の柔らかな光でキラキラと輝く映像に、あちこちで「キレイ！」と満面の笑みが見られました。親子一緒に工作体験が楽しい思い出になりますように。



編集後記

スマホで検索すれば何でも簡単に答えが出てきて、美しい画像がすぐに手に入る時代だからこそ、親子が自分の手でモノに触り、工夫しながら工作して、何かと一緒に創り上げる体験の場を大切に守っていきたいと思います。里山の廃校小田小交流プラザがそれを担えたら嬉しいです。

春まで小田協議会関連イベント

2026年2月15日(日) 地区対抗つな引き大会

2026年3月 7日(土) 小田城春の陣(会場:小田城跡)
※昔遊び体験会出展予定

2026年4~5月予定 キラキラ万華鏡作り体験会